

本校普通科2年生の生徒が 広島大学附属高等学校の生徒と 課題探究でオンライン交流を行いました。

11月20日（水）、本校普通科2年生の2班が、学校設定科目「探究PFⅡB」の時間に、広島大学附属高等学校の生徒とオンラインで交流を行いました。昨年度からスタートした広島大学附属高等学校とのオンライン交流ですが、今年度も、お互いの現在の探究活動について、発表と質疑応答を行いました。広島大学附属高等学校とは、2年前からお互いの課題探究発表会に生徒の課題探究のポスターを展示したりするなど、交流を深めてきました。更に、今年度からは、広島大学附属高等学校の課題研究発表会「SSHの日」に本校普通科2年生の生徒を派遣し、ポスター発表をするように計画を進めています。

<今年度の交流班の課題探究のテーマ>

大村：「心地よさを感じる自然 ASMR の波長の共通点」

「大村市の危険個所をまとめた福祉マップづくり」

広大附属：「人が心地よいと感じる語呂や語順について研究する。語順や語呂などの商品の特徴と商品の選ばれやすさの関係について」、
「築年数や建材をもとにしたハザードマップの作製。過去の地震データなどから、地域に密着したハザードマップをつくる。」

